

---

# 魔法少女リリカルなのはStrikerS 一途な思い

czhs

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikerS 一途な思い

### 【NZコード】

NZ0251Z

### 【作者名】

CZHs

### 【あらすじ】

八神はやでが率いる新部隊その名を機動六課。この出来て一日目の部隊に異動してくる一人の魔導士がいた。これは機動六課と一人の魔導士が織り成す物語。

## 始まり（前書き）

初めまして『CZHIS』と申します。ド素人なので温かい目で見て頂けたら幸いです。

## 始まり

はやて side

はやてとリインはある書類を見ていた。

「まさかあの人�이가来てくれるとは思つてなかつたわ～リンティさん  
に頼み込んだかいがあつたぢゅうもんや！」

「誰なんですかその人つて？」

「うちやなのはちゃんそれにフェイトちゃんが前からお世話になつ  
とる人や。ここ最近おうてへんから会つのが楽しみやわ～」

一人が話してしるドアをノックし一人の人物が部屋に入つてきた。

「はやてちゃん急に呼び出しなんて何かあつたの？」

はやてに話しかける人物、栗色の髪をサイドポニーにして教導管の  
制服に身を包む管理局のエースオブエース、高町なのはだ。

「実はな今日他のところから異動してくる人があるんよ。一人も知  
つとる人やから教えとこつと思つてな」

「私達も知つてる人？」

はやての言葉に首を傾げる金髪の女性。黒い執務管の制服に身を包  
んだフェイト・T・ハラウォンだ。

「せや、これがその人に關する書類や」

一人は書類を見ると同時に驚きと嬉しさのあまり声をあげた。

「えええええ！……優君が来るの！？」

「優が一緒つてことは…四人揃うのは三年ぶりだね」

「さうなんよ、はあ～はやく来てくれへんかな～」

優 side

「ここが機動六課か…金使い過ぎだろ」

『まあ新築ですらね。それよりマスターあまり時間がありませんよ』

「そりだなありがとなアイリス」

『どういたしまして』

俺こと如月優と相棒のアイリスは六課の校舎前にいた。三日前にリンディさんにいきなり異動させられたのだ。それも拒否権なしにな「アイツらと再び会うことになるなんてな…これもリンディさんの策略かなんかなのか?」

『策略かどうかはわかりませんが少なくともあの人に限って悪意があつてやつた事ではないと思います』

「そりだな……あとと行くか」

next

## 出回（漫畫界）

— 話題ですか。やっぱ小説書くのがて難しこですね……

## 出向

優 side

「中に入ったはいいが部隊長室ってどこだ？」  
『私に聞かれましても…』  
「だよな～」

こんな感じで俺達は六課の校舎内をさ迷っていた。受付の人が居なかつたからまあしかたがないと思い自力で探していたんだが、一向に見つからない

「それに誰にも会わないとは…」  
溜め息をついていると前から青髪とオレンジ髪の子達が歩いてきた。  
ちゅうどいから聞いてみるか

「ちよつといいかい？」  
「はい、何でしちうか？」

青髪の方が聞いてくる

「部隊長室がどこにあるか教えてくれないか？」  
「失礼ですが、どちら様ですか？」

今度はオレンジ髪の方が聞いてくる

「おつと名乗ってなかつたな。俺は如月優一等空尉、本日から機動六課に異動して来た者だ」

「！？失礼いたしました。ティアナ＝ランスター＝等陸士です」

「スバル＝ナカジマ＝等陸士です」

「よろしくなティアナ、スバル」

「はい、では案内させて頂きます」

三人は部隊長室に向かつた

はやて sude

「優君と直接会うのは一年ぶりやな～今度どつかに連れてつてもらおうかな」

「だめだよはやてちゃん、連れてつてもらうのは私なんだから～」

「二人共、何言つてるの？優は私と出かけるんだよ～」

そんな事を言つているとティアナから通信がはいつた。

失礼します、如月一等空尉をお連れしました

「わかつた、ありがとな」

いえ、それでは

通信が切れるどドアをノックして優君が入ってきた

「失礼します、本日より機動六課に出向します如月優一等空尉です。

一年間よろしくお願ひします」

「機動六課部隊長の八神はやてです。六課はあなたを歓迎します。」

お互い敬礼し握手をする

「さて、堅苦しいのはしまいや。久しぶりやね優君」

「これからよろしくね優君」

「よろしく優」

「久しぶりだなはやて、なのは、フュイト！」

next

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0251z/>

---

魔法少女リリカルなのはStrikerS 一途な思い

2011年12月1日23時46分発行